

大学院特別講義

日時： 平成30年7月13日（金） 15：30－17：00
場所： 静岡県立大学小講堂
対象： 大学院生、学部生、教職員、学外の方の参加も歓迎いたします。

演題： IL-18による免疫チェックポイントの制御と
その癌免疫治療への応用

演者： 田中 稔之 先生
兵庫医療大学 薬学部 生体防御学分野 教授

講演概要：

免疫チェックポイント阻害薬（ICB）は担癌宿主のT細胞を抑制状態から解放し、強い抗腫瘍効果を発揮する。しかし、その効果は未だ限定的であり、作用の増強が望まれている。自然免疫を制御するサイトカインIL-18は、pre-mNK細胞と類似の表現型をもつ特徴的なNK細胞の誘導を通じてICBの抗腫瘍効果を増強する。NK細胞を除去すると、IL-18によるICB作用の増強効果は強く抑制される。CT26細胞を用いた腹膜播種モデルの解析から、このpre-mNK様細胞は最終的なエフェクターであるCD8⁺T細胞に先行して治療早期に腹腔内に集積することが示された。またpre-mNK様細胞はXCL1を発現し、これを除去するとCD103⁺XCR1⁺樹状細胞（cDC1）の腹腔への動員が減少した。これらの結果から、IL-18がpre-mNK様細胞によるXCL1-XCR1 axisを介したcDC1動員とI型免疫反応の効率的な誘導を通じて、ICBの抗腫瘍効果を増強する可能性が示唆された。本講義では癌免疫領域における田中先生の研究グループによる最新の研究成果を紹介して頂く予定です。

* 「薬物治療学特論」の受講者は出席してください（7回目の講義となります）

問い合わせ先：
静岡県立大学薬学部臨床薬効解析学分野 伊藤 邦彦
TEL/FAX: 054-264-5673
E-mail: itohk@u-shizuoka-ken.ac.jp